

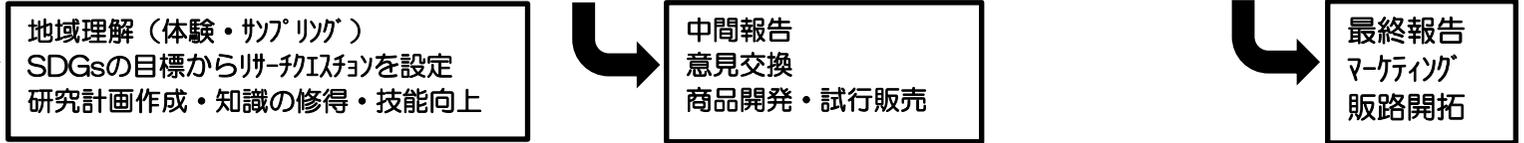
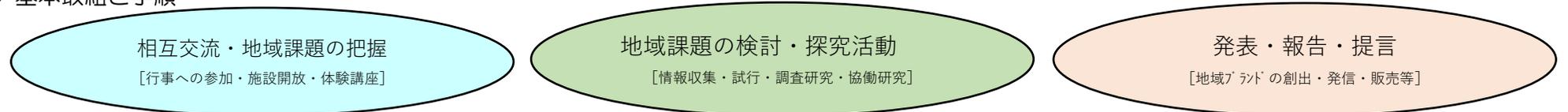
持続可能な食・農・環境・地域を目指す拓陽アクションプラン(令和2年度～4年度)

【補足資料1】

○ 教育課程上の中核となる授業・活動例・主な学校行事



○ 基本取組と手順



○ 地域との連携・協働体制

◆ 連携・協働先(例)

《県・市・町 地域》
 那須塩原市、大田原市・那須町他、担当課、県農業振興事務所
 地域行事への参加、地域への開放、小・中学生向け・家族向け行事、Web会議による意見交換・連携調整

《団体・個人・企業》
 JAなすの、県酪農業協同組合、企業、店舗、農業教育振興会、農業士
 課題研究・探究活動に関する情報収集、地域課題の把握、インターンシップ、Web会議による意見交換・連携調整

《大学・研究機関》 《学校間連携》
 宇都宮大学、帝京大学、県農業試験場、県農業大学校、県内外の高校
 出張講義・施設見学・実験講座、協働研究、Web会議による意見交換・助言・連携調整

○ 連携・協働体制を充実するための整備 ⇒ Web会議用 タブレット・ディスプレイ

育成する人材像
 ○ 正解のない問いに向き合うチャレンジ精神旺盛な人
 ○ 地域の方々と連携・協働し、ア

◆ 協働研究の分野(例)



地域への愛着
 地域への定着

【補足資料2】 課題研究・探究活動と関連するSDGsの7つの目標

SDGsの目標からリサーチアクションを設定・「研究計画作成」、「研究のまとめ」のよりどころとして活用☑



質の高い教育をみんなに
働きがいも経済成長も
住み続けられるまちづくりを
つくる責任つかう責任
海の豊かさを守ろう
緑の豊かさも守ろう
パートナーシップで目標を達成しよう

持続可能な社会を目指してどのように生きるかという正解のない問いに向き合います。

地域社会の中での”食と農の関わり”を見つめ直し、その魅力と可能性を発信します。

持続可能な生産と消費のため地産地消の推進プランを提案します。

環境や社会に配慮したエシカル消費、持続可能な生産と消費のため地産地消の推進プランを提案します。

減農薬及び減化学肥料による川の環境にやさしい農業にチャレンジします。

多様な生きものを育む農地・水環境の保全にチャレンジします。

食・農・環境・生きものを通して連携・協働する地域社会の一員となることを目指します。